

教科シラバス（国語科）

科目名	現代の国語	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	2	必履修	一斉・少人数制
使用教科書・副教材・準備物					
新編 現代の国語（東京書籍）・漢字ボックス（浜島書店）					
科目の概要			学習目標		
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。実社会に必要な知識や技能を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。</p>			<p>1 実社会において理解したり表現したりするために必要な知識や技能を身に付け、語感を磨き伝え合う力を高める。 2 様々な言語活動を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、文章に含まれている情報の扱い方について深く考え、論理的な思考力を養う。</p>		
年間学習プログラム					
	学習内容	学習のねらい			
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己を見つめる ・ 他者に出会う ・ 言葉と生活 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生きる原点としての自己への理解を深める。 ・ 評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げる。 ・ 話題について分かりやすく話すために、構成を工夫する。 			
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会と関わる ・ 言葉と生活 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。 ・ 情報の分量や重要度を考えて、読み手にとって理解しやすいように工夫して書く。 			
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来に目を向ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な価値観に触れ、社会の未来を考える。 ・ 他人の発表を聞くときに、しっかり反応を示したり、質問や意見を述べたりする。 			
評価の観点及び内容					
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通してその特質を理解し、適切に使うことができているか。				
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。				
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉感覚を磨こうとしたり、言葉を効果的に使おうとしているか。				
評価方法及びその他留意事項					
定期考査を主として、各種テスト、学習態度、課題等の提出状況を点数化し、上記3つの観点から総合的に評価する。なお、提出物は期限厳守で確実にし、授業には積極的に参加すること。					